

坂田式に關する俗諺

- 一、農民は土地を生命と心得べき事。
- 二、好んで勤勞すべき事。
- 三、工夫考案を回らすべき事。
- 四、慈愛を旨とすべき事。
- 五、常に満足すべき事。

富田松北先生の勤業俗諺

作をするなら稻麥よりも
土を作るにや堆積肥料
堆積肥料は廢物利用
桑を植えても金肥は第二
基本肥料は堆肥に限る
膠質化學の原理を守れ
膠質化學を知らない人は
金を使つて金肥を入れて

土を作るが専一かなめ
とても金肥ぢや出來はせぬ
金をかけずに只出來る
馬耕堆肥が一と知れ
金肥などは補助肥料
それで作物大當り
お氣の毒だが損をする
土地を荒して終ひ不作

自給肥料で見事に出來て
世間一般不作の年も
稻のかたはら蠶も飼つて
つまる所は工夫が上手
勞力分配見事に出來て
稻の種採りや拔穂に限る
穗元三分を除いて中と
種子は土圍ひ寒中浸し
種子は薄蒔き一坪當り
床は揚げ床陸苗代は
米の取れるも不作となるも
本田一反苗代十坪
田植一本又には二本
但し場合で九寸に九寸
田の草六回うち一回は

坂田式に關する俗諺

金肥いらすの名が高い。
不作知らずで賞められる。
繭でお金もたんととる。
一家圓滿水入らず。
人の力は借りはせぬ。
拔穂早取りするがよい。
先の七分をこき落とせ。
稻の住み家は土と知れ。
一合位にするがよい。
數へ切れない徳がある。
半ば以上は苗次第。
それが稻には丁度よい。
株の間は尺がほど。
四十二株としてもよい。
最初雁爪打つがよい。

坂田式に關する俗語

草を取るほど藁まで育つ
 稻を蒔るには時節を守れ
 粃で六石又七石で
 粃の摺歩は六分と五厘
 青も少く碎けもなくて
 論より證據は穀屋の相場
 麥を作るにや畝盛式よ
 自給肥料のお蔭で今は
 金肥騰貴も馬耳東風よ

大正八年

藁が育てば實も稔る。
 程を過ぎれば損が立つ。
 玄米四石の上になる。
 皮が薄くて實が重い。
 搗いたお米は上々白よ。
 竝の粃より値が高い。
 是れも跡作稻のため。
 繭もお米も只儲け。
 自給肥料の模範農。

三七四

咬菜軒 坂田寅治郎

坂田式農業經營法終

諸新聞の批評(第一版に對する)

△時事新報 富田松北著、第一に勞働、第二に工夫、第三に肥料を以て勸農の家憲として農事經營上に多大の功績ある老農坂田寅治郎翁の主唱する改善法を説いた書で、耕作、麥作、桑の栽培、耕作、肥料の方法及び坂田式自作農地地主と一般農家の經濟的比較を爲し其の優良なる成績を示し、農家の爲めに教へる處の尠少なからざる著述である。

△高知新聞 坂田式は長野縣の老農にして所謂坂田式農業に成功した人である、本書は其の經營農法を詳細に述べたものである、坂田式とは先輩老農の實驗したる長所を取入れ又學者の獎勵する所をも多く採用し三十餘年間の實行に研究を重ねて大成したので要するに少費多收の農法而して其の經營は米作を主とし麥作養蠶の二業を兼れ五反歩農家に適當な方法を立てたのである、本縣農家の如きも之を精讀せば必ずや大に得る所があるに相違ない。

△静岡民友 時事新報と同様

△高田新聞 富田松北著信州の篤農家咬菜軒坂田寅治郎翁の農事經營法を研究したもので、米麥桑の栽培法、耕作法、自給肥料、肥培法、失敗談並に成功談を詳説したもので、一般農業の非常に参考になる良著である。

△富山日報 富田松北著、坂田式米作法、麥作法、桑栽培法、耕作法、自給肥料、肥培法等を詳細に説述したり、農家の一讀を奨む。

△名古屋新聞 富田松北著、信州更級村の篤農家として知られた

坂田咬菜軒翁の農作方法を詳述したもので、一般農家の好参考書である。

△上毛新聞 安全第一坂田式農業經營法出てたり。

△新潟新聞 富田松北著、本書は米作、麥作、桑並に肥料等に関する一流の耕作法を詳述したもので、當業者は是非一讀の要がある。

△群馬新聞 坂田寅治郎翁は農業に身を委ねる多年安全第一を主とする坂田式經營法を發表したのが本書である。氏は常に三則を家憲としてゐる(一)菜穀は子の如く愛せよ、親の如く尊むべし(二)農業は勞働工夫肥料の三を注意せよ(三)一町歩作らんとせば八反を作れ、肥を恃まず、鋤を頼め。此の三ヶ條が結晶分解して成りたるもの即ち本書である。

△長野新聞 安全第一と銘を打たる農業經營法で富田松北氏の著す處、農家の以て全科玉條として動かし得ざる坂田氏の家憲が基礎を爲し、總てが之を敷衍されたものと見るべく、米作、麥作、桑、耕作、自給肥料其他農家經營の全般に亘つて平易に詳細に説いてある、進歩の道程に立つ農家は以て好参考としこれに教へられる處がある筈である。

△信濃日日新聞 本書は信毎記者富田松北氏の著である。君は元來實業的方面に興味を持って居るのであらう。今其の要綱を掲げると、坂田式米作法、坂田式桑の栽培法、坂田式耕作法、坂田式自給肥料、坂田式自作農小作農及地主と普通の自小作及び地主との經濟的對照等之に加ふるに失敗談、成功談、著者の所見と希望杯が記述されて居る。其詳細に渡つては選種法、灌漑法、其の他

坂田式一切に涉つて親切丁寧に教へてある、兎に角、實地の経験を基礎として居るので安全第一を冒頭に書名に被らせてあるのは決して滑稽ではない、本書の内容を保障して居ることを信ずるのである。吾人は農家は勿論荷も農業經營に志す者に一本を座右に供する事を敢て勧告する事を躊躇せず、尙卷末には著者が得意とする俗語を以て農事の心得を唄つて居る一二の例を擧ぐれば。作をするなら稲夢よりも土を作るが第一かなめ。土を作るは堆積肥料とても金肥ちや出来はせぬ。堆積肥料は廢物利用金をかけずに只出来る。等である。

南信日日新聞 信濃毎日新聞記者松北富田岩代氏は坂田式農業法で著名な坂田寅治郎氏の農業經營法を一般に奨励し一面新業の發展を圖るため「安全第一坂田式農業經營法」を公にした、氏は大なる農事研究家で其巻頭に貴族院議員淺田德則氏は「無逸粒々辛苦」と題し、農相秘書官小作順造氏は「省費增收獲、新型克教豊、蓋然生意溢、源在一書中」と題して、松北氏の粒々辛苦を賞して居る。編中坂田式農業家憲を劈頭に坂田式米作法、坂田式麥作法、坂田式桑の栽培法、坂田式耕作法、坂田式自給肥料、坂田式肥培法、坂田式を推奨する理由、坂田式自作農小作農及び地主と普通の自作農小作農及び地主との經濟對照、坂田翁の失敗成功談等六十八項に分ちて詳細を極め最後に著者の所見と希望を述べてある。食糧問題の喧しき時、氏の此の著書は農家の一大福音にして又羅針盤なり、小坂氏の云ふ費用を省き收穫を増す事、確實なるべし。
△信濃毎日新聞 富田松北著、目次は(一)坂田式米作法(二)坂田式麥作法(三)坂田式桑の栽培法(四)坂田式耕作法(五)坂田式自給

肥料(六)坂田式肥培法(七)坂田式を推奨する理由(八)坂田式自作農小作農及地主と普通の自作農小作農及地主との經濟的對照、(九)失敗談並に成功談(十)著者の所見と希望(十一)坂田式に關する俗語等あり、全部二百頁、次第に發達したる坂田式農法の尤も圓熟したる時に於て其の委曲を盡したるは本書なり、同式を奉ずるものは素より是れに就て其の如何にして今日の發達を遂げたるかを知るの要あるべく同式に不服のものも又是れに就て眞の坂田式なるものが如何なるものなるかを知るの要あらん、其の如何は兎に角とし、斯まで熱血を籠めて一流を編み出したる坂田氏及び是れを簡明流暢に描き出した著者の勞は多とするに足る、淺田德則小坂農相秘書官二氏の序文あり、尙本書の農學的進歩の如何は近日中別欄に於て詳評することとなすべし。
△いはばらき 坂田式農業家憲、米作法、麥作法、桑の栽培法、耕作法、自給肥料、肥培法、坂田式を推奨する理由、坂田式自作農及地主と普通の自作農小作農及地主との經濟的對照、失敗談並成功談、著者の所見と希望、坂田式に關する俗語等を聚録したるもの也。
△北國新聞 久しく信濃毎日に筆を採れる富田松北氏の著作にして所謂安全第一と稱する坂田式農業經營法を詳説せるもの、先づ坂田式農業家憲より其の米作法及麥作法に及び桑の栽培法耕作法自給肥料、肥培法に説き及ぼし更に坂田式を推奨する理由を述べ地主小作の經濟的對照を掲げ失敗談並に成功談あり著者の所見と希望より坂田式に關する俗語を收めたり。農家の參考として一本を備へざるべからざる良書なるべし。

大正十一年十一月五日印刷
大正十一年十一月十日發行

坂田式農業經營法

正價金三圓五十錢

著者

長野縣長野市旭町十一番地
富田岩代

發行者

東京市神田區錦町一丁目十六番地
周防初次郎

印刷者

東京市芝區愛宕町三丁目二番地
赤羽正己

印刷所

東京市芝區愛宕町三丁目二番地
東洋印刷株式會社



發兌元

東京市神田區錦町一丁目十六番地

明

文

堂

電話神田二四七五番
振替口座番號東京一三一九〇番

文明堂發行農蠶業圖書目錄

Table listing books on silkworm rearing and agriculture, including titles like '石波紫胤', '池田榮太郎', and '高橋伊勢太郎', with columns for author, title, and price.

文明堂發行農蠶業圖書目錄

Table listing books on silkworm rearing and agriculture, including titles like '石波紫胤', '池田榮太郎', and '高橋伊勢太郎', with columns for author, title, and price.

■ 錄目書圖業蠶農行發堂文明 ■

大原・西澤	佐藤・山本	岡崎・田口	實業教育研究會	實業教育研究會	望月・瀧	釘本・昌三	釘本・昌二	駒井・野々垣	駒井・春吉	富益・安部	原田・東一郎	山本・久助	奧原・安達	辻川・巳之介	辻川・巳之介	辻川・巳之介	土屋・泰	土屋・泰	土屋・泰	遠藤・保太郎	遠藤・保太郎	水井・壽一郎	
農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業	農業
桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培	桑樹栽培
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇

池田・榮太郎																							
桑樹栽培																							
一〇〇																							

池田・榮太郎																							
桑樹栽培																							
一〇〇																							

池田・榮太郎																							
桑樹栽培																							
一〇〇																							

終